

① 名称等	第 4 回リノベーションスクール@沼津 の開催
開催期間	平成 30 年 10 月 5 日(金)～7(日)まで
② 名称等	第 4 回リノベーションスクール@沼津 公開プレゼンテーション
開催日	平成 30 年 10 月 7 日(日) 14:30～16:00
担当	都市計画部 まちづくり政策課
	直通 055-934-4886 内線 2579

1 内 容

- ① 全国で活躍する先駆的事業者とともに、まちに実在する空き家や空き店舗などを題材に、事業プランを作成する「リノベーションスクール@沼津」を 10/5～7 に開催します。
 今回で 4 回目を迎える本スクールでは、これまでの「不動産再生ユニット」に加えて、空間づくりの施工を実際に行う「セルフリノベーションユニット」を設けています
 また、スクールの中で、スクール生以外の一般の方も参加可能な、専門家によるライブアクト(講演)も開催します。
- ② スクールの最終日に、3 日間にわたるユニットワークの成果を発表する「公開プレゼンテーション」を行います。優れた内容で不動産オーナーが共感してくれた提案については、スクール後も計画をブラッシュアップし、事業化を目指していきます。
 ※ これまでのスクールから、今年の 8 月に 1 件が事業化され、さらに 11 月にも 1 件の事業化が予定されています。

2 概 要

- ① 第 4 回リノベーションスクール@沼津
- ・開催日 10 月 5 日(金)～7 日(日)
 - ・参加者 ①不動産再生ユニット 2ユニット
②セルフリノベーションユニット 1ユニット
※1ユニットはスクール生 8 人と専門家 2 人の計 10 人で構成。
 - ・会場 沼津市大手町 4 丁目(新仲見世商店街) ほか
①ユニットワーク：テレビのイマイ 2 階
②ライブアクト：うるわしビル 1 階 ほか
 - ・一般公開ライブアクト(参加無料・申込不要)
 - ①10/5(金) 13:30～14:30 嶋田 洋平
 - ②10/6(土) 10:00～11:00 東野 唯史・華南子
 - ③10/6(土) 18:30～19:30 馬場 祐介
 - ④10/7(日) 16:00～16:30 青木 純
- ② 第 4 回リノベーションスクール@沼津 公開プレゼンテーション (参加無料・申込不要)
- ・開催日 10 月 7 日(日) 14:30～16:00
 - ・会場 沼津市大手町 4 丁目(新仲見世商店街アーケード下)

※詳しくは、別添フライヤーをご覧ください。



Proud NUMAZU



始まり繋がる今、
ぼくらが明日を拓く。

「欲しい暮らしは自分でつくる」

まちを使い倒し、まちを楽しみ尽くす。
まちと暮らしをリノベーションし、未来を切り開く実践者、集まれ！

第4回

RENOVATION
SCHOOL
リノベーションスクール

リノベーションスクール @ 沼津

最終公開プレゼンテーション

2018.10.7 (sun) 14:30~16:00

会場：新仲見世商店街

見学無料

詳しくは裏面
または

<https://re-re-re-renovation.jp/schools/第4回リノベーションスクール@沼津>

 リノベーションまちづくり沼津

主催：沼津市

企画：株式会社リノベリング 運営：沼津市リノベーションまちづくり実行協議会/株式会社リノベリング

リノベーションスクール @ 沼津

100% U-TURN CITY 沼津には大学がなく、多くの市民は進学を機に転出してしまいます。しかしそれは、同時に外の地で様々なスキルを身につけ活躍している人がいるということ。そして、首都圏からのアクセスの良さを考えると、沼津は首都圏でのビジネスや住まいの2つ目の拠点となる可能性があります。「いったん離れた人たちが自分たちのまちをつくること」をコンセプトに、帰ってきた人がかかわりやすいまちへの変革を、「リノベーションまちづくり」により実現します。リノベーションまちづくりでは、Uターン人材等市外でスキルを身につけた人材による「働く」「育てる」「学ぶ」「住む」「遊ぶ」コンテンツを通じた「質の高い雇用」を次々と生み出します。リノベーションとは、単に建物の改修ではなく、それをきっかけとして、エリアそのものを変えていくものです。リノベーションまちづくりの取り組みから育った新しいプレイヤーと既に沼津を盛り上げているプレイヤーが力を合わせることで、新たな事業も育ってきています。

リノベーションスクールでは、物件オーナーから提供された沼津市に実在する物件を対象に、事業計画プランを作ります。受講生は、8名程度のグループ(ユニット)に振り分けられ、リノベーション界の先駆的事業者である講師(ユニットマスター)とサブユニットマスターとともに、3日間かけて実案件を対象にアイデアを出し、企画、デザイン、事業計画を立案します。最終日には不動産オーナーに向け公開プレゼンテーション。そして、スクール後実現可能性の高い提案については、内容にブラッシュアップを重ね、事業化につなげていきます。

①不動産再生ユニット

不動産再生ユニットは、物件オーナーから提供された空き物件を対象に、事業プランを作ります。物件単体のみならず、その物件のあるエリアの価値を上げ、地域を生まれ変わらせることができるかを考え、エリアの再生を目指します。

②セルフリノベーションユニット

セルフリノベーションユニットは、事業オーナーから提供された空間を対象として、実際に増改修を行います。まちづくりを目的としたセルフリノベーションを行い、みんなで作る楽しさや手法を学びます。そして、まちにどのように開き、共感の輪をどのように広げるか施工を通してまちづくりを行います。

一般公開プログラム 見学無料・申込不要

ライブアクト

会場：
新仲見世商店街 うるわしビル 1F
(沼津市大手町4-5-12)

1 10/5 (fri) 13:30 ~ 14:30



嶋田 洋平 (しまだ ようへい)
「ぼくらのリノベーションまちづくり」

らいおん建築事務所代表取締役 / 北九州家守舎代表取締役 / リノベリング代表取締役 / 神田川ベカリー代表取締役 / TheCave取締役

1976年福岡県生まれ。東京理科大学理工学研究科建築学専攻修士課程修了後、建築設計事務所「みかんぐみ」チーフを経て、2008年らいおん建築事務所を設立。2012年北九州家守舎を、その翌年には都電家守舎を設立し、生まれ育った北九州市の小倉、そして家族と暮らす豊島区雑司が谷の間を行き来しながら雑司エリアにおけるリノベーションまちづくりによる再生事業を行っている。小倉魚町での実践によって「国土交通大臣賞」「都市住宅学会奨励賞」「土地活用モデル大賞審査委員長賞」「日本建築学会賞教育賞」を受賞。著書に「ほしい暮らしは自分でつくる ぼくらのリノベーションまちづくり」(日経BP社)、共著に「2025年の建築 七つの予言」(日経BP社)、「最高に気持ちいい住まいのリノベーション図鑑」(エクスナレッジ)等。日経アーキテクチャアーキテクト・オブザ・イヤー2017第2位に選定

2 10/6 (sat) 10:00 ~ 11:00



東野 唯史・華南子 (あずの ただふみ・かなこ)
「リビルディングセンタージャパンの活動と今後の取り組みについて」

ReBuilding Center JAPAN

1984/1986年生まれ。名古屋国立大学芸術工学部卒/中央大学文学部卒。2014年より空間デザインユニットmedicalaとして妻の華南子と活動開始。全国で数ヶ月ごとに仮暮らしをしながら「いい空間をつくる」を合言葉に店舗のデザイン・施工・運営アドバイスを行う。15年にポルトランドでReBuilding Centerに出会い、16年建築建材のリサイクルショップReBuilding Center JAPANを長野県諏訪市に設立。大学の恩師に一番最初の授業でデザインは世界をよく出来る」と教えてもらったことを糧にデザイナーとして活動。

3 10/6 (sat) 18:30 ~ 19:30



馬場 祐介 (はば ゆうすけ)
「やりたいことをやれ
～飲食をやりたいわたくしの飲食店のつくりかた～」

株式会社ミヨウリ 代表取締役 / 株式会社都電家守舎 代表取締役 / 株式会社大隅家守舎 取締役 / 株式会社カステッ 取締役 / ユクサおおすみ海の学校 おおすみソムリエ / なるたけ 店主
鹿児島県大隅半島出身。大手飲食会社に入社し複数の飲食店に携わったのち、東京目白の「なるたけ」の店主となる。地元食材を中心として仕入れルートの開拓、商品開発などを行い、食をツールに地域課題の解決や一次産業の活性化に挑む。食の安心と生産者や地域とのつながりをテーマとした飲食店「都電テーブル」を都電荒川線沿線に4店舗。鹿児島県鹿児島市通りに「京町食堂」ユクサおおすみ海の学校に「おおすみ食堂さのぼい」をオープン。

最終公開プレゼンテーション

10/7 (sun)
14:30 ~ 16:00
会場：新仲見世商店街

スクール最終日、
対象となった物件のオーナーに
プレゼンテーションを行います。



全てのテレビのご説明をいたします。

ライブアクト

4 16:00 ~ 16:30



青木 純 (あおき じゅん)
「新しい公共の作り方
～当事者市民と育てる
未来の日常～」

株式会社まめくらし 代表取締役

1975年東京都生まれ。日本の賃貸文化を革新したカスタマイズ賃貸で新しい市場を創造し、経産省「平成26年度先進的なりフォーム事業者表彰」受賞。「青豆ハウス」や「高円寺アパートメント」では住人と共に共同住宅を運営、主宰する「大家の学校」で受ける大家の育成にも取り組む。生まれ育った豊島区では都電家守舎の代表として遊休不動産の転貸事業や飲食事業「都電テーブル」を展開、「南池袋公園」など公共空間活用も民間主導の公民連携で取り組んでいる。